

該当箇所		修正前	修正後
第3部 (工事管理)	(第2章) 92ページ 下から18行目 ③建設業の許可	また、許可を与える者の違いにより、 <u>国土交通大臣の認可と都道府県知事の認可がある。</u>	また、許可を与える者の違いにより、 <u>国土交通大臣の許可と都道府県知事の許可がある。</u>
	(第4章) 110ページ 最下行 (2)ヒューマンエラーの防止策	向きを間違えないように左右対象にする、	向きを間違えないように左右対称にする、
第5部 (情報セキュリティ管理及び対策)	(第1章) 179ページ 下から7行目 ⑤スニファリング	代表的なアプリケーションである Sniffer(現在は Wireshark と改名)からつけられた名前である。	<u>英語でにおいなどを嗅ぐ意の sniff に由来し、ネットワークプロトコルアナライザの俗称として Sniffer と呼ぶこともある。Sniffer という名称の製品もあったが、現在は tcpdump や Wireshark などが広く知られている。</u>
	(第2章) 187ページ 12行目	WPA (WiFi Protected Access)	WPA (Wi-Fi Protected Access)
	(第2章) 192ページ 4行目	WPA (WiFi Protected Access)	WPA (Wi-Fi Protected Access)
	(第2章) 192ページ 下から8行目	PMF (Protected Mangagement Frames)	PMF (Protected Management Frames)
	(第2章) 194ページ 下から16行目	事前共有鍵 (Preshared Key:PSK)	事前共有鍵 (Pre-shared Key:PSK)
	(第2章) 194ページ 下から6行目	SAE (Simulatenous Authentication of Equals)	SAE (Simultaneous Authentication of Equals)
	(第5章) 221ページ 23行目	(最小特権(Least Priviledged)の原則)	(最小特権(Least Priviledged)の原則)

該当箇所		修正前	修正後
電気通信 事業法 その他関 係法令	(第3章) 法規-16 ページ 22行目	電気通信事業法第41条第3項及び第4項は、	電気通信事業法第41条第4項及び第5項は、